

はあとだより



—第1号—

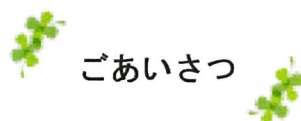
平成21年2月28日



大町事務所 (いとか鷹巣南店 近く)



フードセンターたかのす (脇神)



ごあいさつ

(財)たかのす福祉公社は今年で11年目を迎えます。昨年4月1日より事務所を北秋田市大町に移し、“はあと”の愛称で、思いも新たに「医・食・住・介」の在宅福祉サービス中心の事業展開を始めました。

暮らしの中で医療・介護の悩みを抱えている方に対する相談助言、暮らしに役立つ情報提供・介護講座、知識や技術の向上に向けた研修、地域にある問題を探り解決するための調査研究活動等の公益事業を行い、役職員ともに地域の貢献に努めてまいります。現在は、サービス提供範囲を北秋田市全域に広げ、更には、ご要望があれば近隣市町村へも広げております。

これからも皆さんの隣に寄り添う“はあと”をご愛顧いただきますよう、よろしくお願い致します。

財団法人たかのす福祉公社

理事長 松橋雅子

財団法人たかのす福祉公社

平成20年度 公益事業内容

地域の方々に身近な存在であるために、
私たちができること・・・
「はあと」は、このような取り組みをしています。

第1回 暮らしの楽習会

平成20年 7月23日（水）に、北秋田市交流センターにて「第1回暮らしの楽習会」を開催し、市川氏を講師に招いて「福祉用具を使ってもっと快適に」について講演していただきました。当日は、当公社役職員を含め約40名の参加でした。

「どんな福祉用具を使えば快適な生活ができるか？」等についてわかりやすく説明していただきました。その方に合った福祉用具を選定することが一番大事であり、それが介護者の負担軽減にもつながることを再認識した楽習会となりました。



講師 市川 洌（きよし）氏
（福祉技術研究所 代表）



会場入り口付近に、車いすや歩行補助車を展示し、参加された皆様に体験していただくことができました。また、配食サービスで提供している食事のサンプルも展示し、配食サービスの流れや食事の提供方法等を説明し、ご理解していただきました。



北秋田市産業祭に出展して・・・

平成20年10月25日（土）、26日（日）に行われた、第3回北秋田市産業祭に初めて出展しました。今回参加した目的は、自ら地域に出向き、できるだけ多くの市民の皆様に「財団法人たかのす福祉公社」、「はあと」の名称、サービス内容等を知っていただくためのPR活動を行うためでした。

当日は、電動ベッドや車いす等の福祉用具や各種介護用品の展示、デモンストレーション、配食サービスサンプルの展示を中心に行いました。また、公社パンフレットやPR用のティッシュ等も約1,000部（個）配布してのPR活動を行いました。



第1回 地域介護講座

平成20年12月16日と18日に、「**にんちしょうを理解する講座**」として、地域介護講座を阿仁・合川地区で開催しました。北秋田市でも特に高齢化率の高い両地区で開催させていただきましたが、阿仁地区では9名、合川地区では23名参加していただきました。

「認知症」は誰にでも起こりうる病気です。「認知症」の症状や特徴等を正しく理解することがまず大切です。その上で、たとえ「認知症」になったとしてもその方の尊厳を傷つけてしまわないよう、ご家族はもちろん、その地域の方々のサポート体制も大変重要になってきます。そのサポート体制の構築に私たち「はあと」職員は今後も努めてまいります。

今回のこの講座では、「認知症」に関する基本的な知識や、「認知症」になった方への関わり方等をお伝えしました。



当法人は、公益法人としての性格を十分に発揮しながら、このような事業を21年度も実施し、皆様にも広く情報提供を行っていきます。

賛助会員募集！

財団法人たかのす福祉公社の目的に賛同し、事業運営に協力頂ける方（賛助会員）を募集しています。
（目的）

当公社は、普段の生活の中で支援を必要とする方が、生活の質の向上を図られるよう努めるとともに、何らかの支援が必要になっても、誰もがあたりまえの暮らしを営めるような、地域社会づくりに寄与することを目的としています。

- ①普通会員 個人で経済的な援助を目的に会員登録をされた方
- ②特別会員 家族、社会福祉関係、各種団体、事業所等で経済的な援助を目的に登録された方
- ③技術会員 **（はあとサポーター）**

個人若しくは、団体で持っている技術・知識を活かし公社の事業にその活動を通して協力することを目的に会員登録された方

賛助会費（年額）

普通会員	一口	1,000円	特別会員	一口	2,000円
技術会員	（はあとサポーター）	その技術、ご協力をもって会員になっていただけます。 （公社情報誌等の資料配布、研修・講習会の呼びかけ、除雪、草刈等々）			

会員登録して頂いた方には、当公社が行う各種講習会のご案内や公社情報誌による情報提供等を行います。一口から登録でき、初回登録の方には会員証 **（はあとピンバッチ）** をお渡し致します。申込用紙は、事務局にて配布いたします。皆様のご登録をお待ち致しております。

公社サービス内容

<介護保険サービス>

- ・ 訪問看護ステーションはあと・・・主治医の指示のもと、心をこめて看護を提供します。
- ・ 福祉用具レンタルセンターはあと・・・専門相談員が、皆様の体の状態に合った福祉用具を貸与します。
（介護用品の販売や住宅改修のご相談も承っています。）
- ・ 居宅介護支援事業所はあと・・・介護に関する相談やケアプラン作成、介護保険の代行申請を行います。

<障害福祉サービス>

- ・ フードセンターたかのす（就労継続支援B型）

北秋田市の指定管理施設として、何らかの障害を持った利用者が自立した日常生活等を営むことができるよう、必要な支援等を適切に行い、一般就労につながるよう支援します。

また、北秋田市からの食の自立支援事業（配食サービス事業）を受託し、市内に住む高齢者等に食事を提供します。

<お問い合わせ>

財団法人 たかのす福祉公社 事務局 〒018-3324 秋田県北秋田市大町8番23号
電 話 0186（67）8255 F A X 0186（69）7377
e-mail kousya@takanosu-fukushi.com ホームページ <http://www.takanosu-fukushi.com>

「北秋田市における地域医療・福祉の在り方」に関するアンケート結果

平成20年9月に、調査研究事業として北秋田市内の開業医の皆様へ、標記アンケートを実施させていただきました。その結果について、下記のとおりとなりましたのでお知らせいたします。
アンケートにご協力してくださった開業医の皆様へ厚く御礼申し上げます。

＜北秋田市内29の開業医（歯科含む）の皆様にご依頼し、22件のご回答をいただきました。＞

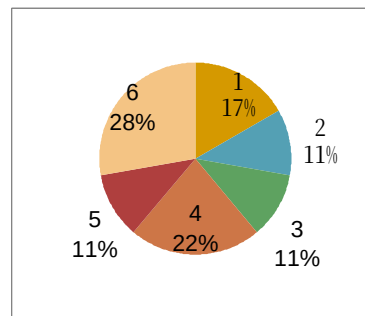
Q1. 北秋田市において、地域医療を進める上で最も重要なことは何だと思いますか？

（自由記入）

1. 医療と福祉の連携、病診連携・病院（診療所）と介護の連携
2. 必要な診療科の確保・拡充、医療に関する予算の確保
3. 高齢者対策
4. 福祉のスキルアップ・人材育成・確保
5. 人口動態・社会環境の変化を考慮した計画の作成、交通網の充実
6. その他

地域福祉の充実・市民の協力
平等・フェアであること 等のご意見がありました

Q1 回答



※ 1. について、医療と福祉の連携が明らかに薄れているとのコメントあり

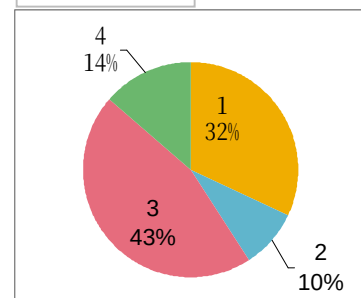
Q2. 北秋田市の介護サービス事業者との連携、連絡調整はスムーズに行われていますか？

1. はい
2. いいえ
3. どちらとも言えない
4. 無回答

[1. はいの主な理由]

歯科に関しては十分だと言える

Q2 回答



[2. いいえの主な理由]

- ・ケアマネジャーは、医療依存度が高くなった場合には主治医と密接に連絡を取った上でケアプランを作成すること。
- ・ケアマネジャーの独断で病状判断がなされることが多い。

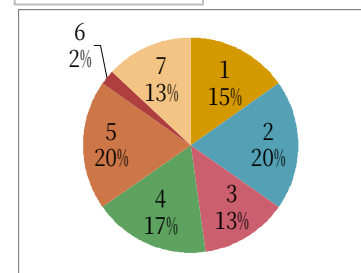
[3. どちらとも言えないの主な理由]

- ・現在のところ接点なし
- ・現状を把握していない
- ・うまくいっている事業所とそうでない事業所がある

Q3. 北秋田市の介護サービス事業者へ、どのようなことを要望しますか？（複数回答可）

1. 基本的なマナー、礼儀、言葉遣い
2. 連絡調整・サービス調整（マネジメント能力）
3. サービス内容の質の向上
4. 人材育成・研修機会の確保
5. 迅速性・適格性
6. その他
7. 特になし、無回答

Q3 回答



[その理由]

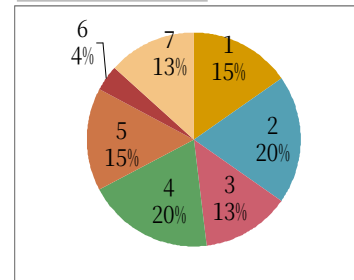
- ・基本的なマナー等は、あって当然の条件である
- ・介護を必要とする人と医療機関、介護サービス事業者との調整が重要
- ・人材育成として、新人への研修が重要
- ・その他として、人数確保が必要
- ・以前に比べ、一部のケアマネジャーではあるが、知識と謙虚さの不足が見受けられる。

裏へ

Q4. 介護支援専門員（ケアマネジャー）に、どのようなことを要望しますか？（複数回答可）

1. 基本的なマナー、礼儀、言葉遣い
2. 連絡調整・サービス調整（マネジメント能力）
3. サービス内容の質の向上
4. 人材育成・研修機会の確保
5. 迅速性・適格性
6. その他
7. 特になし、無回答

Q4 回答



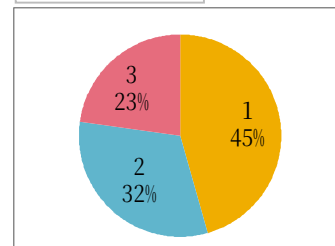
[その理由]

- ・基本的マナー等は、あって当然の条件である
- ・ケアマネジャーの質が、同レベルでない。レベルの高い人もいれば、低い人もいる
- ・連絡調整、サービス調整（マネジメント）能力がない人がかなりいる。
- ・医療に関する知識も必要
- ・それぞれのケースに合ったプランニングができる能力
（介護度別にどんなサービスを受けられるかよりも、どんなサービスを必要としているのかを把握し、それをプランに反映させてほしい）

Q5. 北秋田市において、不足していると感じる介護サービスは現在ありますか？

1. ある
2. なし
3. 無回答、わからない

Q5 回答

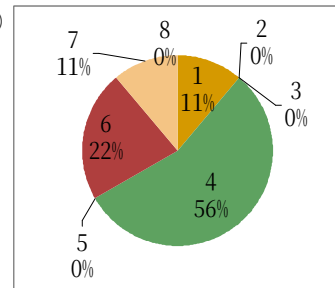


[1. あると答えた場合]

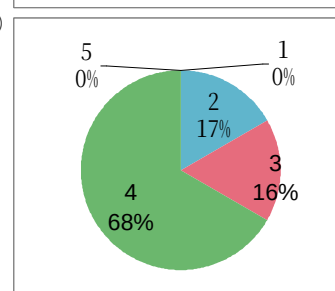
①居宅サービス

1. 訪問介護 もしくは 訪問リハビリテーション
2. 訪問入浴介護
3. 訪問看護
4. 通所介護 もしくは 通所リハビリテーション
5. 福祉用具貸与
6. 短期入所生活介護 もしくは 短期入所療養介護
7. 特定入居者生活介護
8. その他

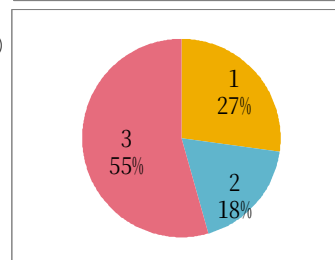
①



②



③



②地域密着型サービス

1. 夜間対応型訪問介護
2. 認知症対応型通所介護
3. 小規模多機能型居宅介護
4. 認知症対応型共同生活介護
5. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

③施設サービス

1. 介護老人福祉施設
2. 介護老人保健施設
3. 介護療養型医療施設

公社は、このアンケート結果を参考に、今後の運営に生かし地域医療・福祉の発展に貢献したいと考えています。上記の他に、公社のサービス内容に関してもアンケートを実施しました。まだまだ、「公社」「はあと」の認知度が低いという結果になりましたので、今後もPR活動等の強化に努めていきます。